



茶娘、茶息子姿で新茶の販売をする生徒たち

学校で採れた新茶をどうぞ

■「学園茶」の販売と呈茶サービス

5月21日、牧之原中学校の2、3年生23人が、牧之原サービスエリアで新茶の販売と呈茶サービスを行いました。

販売した新茶は、学校茶園で手摘みした後、J Aハイナンの協力で製茶され、5月17日に生徒たちが1袋50グラムずつ袋詰めにしたものです。

生徒らは、「私たちが作った新茶です」とPR。用意した200袋は、瞬く間に売り切れました。生徒らは、「苦勞して摘んだお茶を、たくさんの方が買って来て嬉し」と話しました。

新しい車椅子で気持ちを明るく

■榛原総合病院に車椅子寄贈

榛原地区民生委員児童委員協議会は5月14日、榛原総合病院に車椅子2台を寄贈しました。協議会では、病院での介助に役立てていただく、毎月開催している定例会で募金活動を行い、車椅子の購入費に充てました。

協議会の杉本正会長は、「新しい車椅子で、患者さんの気持ちを明るくしたい。気持ちよく使ってもらいたい」と話しました。また、稲邊富貴代副院長は「車椅子は何台あってもありがたいです」と感謝しました。



車椅子を寄贈し挨拶を行う杉本会長（写真右）

宝くじ助成で備品を整備

■自治総合センターコミュニティ助成事業

須々木区では5月、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用して、会議やイベントなどで使用する備品を整備しました。

整備した備品は、テレビやプリンター、デジタル複合機、発電機、イス、音響機器などです。

この事業により、会議や打ち合わせが円滑に行えるほか、子どもからお年寄りまで楽しむことができるイベントが快適に開催でき、地域に密着したコミュニティ活動の活性化が期待されます。



整備されたテレビやプリンター、発電機などの備品

よく確認して安全運転を心がけよう

■自転車免許教室

勝間田小学校で自転車免許教室が5月24日に行われ、4年生21人が参加しました。

この教室では、警察官やいつも通学を見守ってくれている市交通指導員たちが実技講習を指導。

児童たちは、安全な自転車の乗り方の説明を受けた後、実際に自転車に乗り、見通しの悪い交差点での確認方法や車が路上駐車をしている場合の注意点などを学びました。

実技終了後、全ての講習を受けた児童らに自転車免許証が手渡されました。



警察官から安全確認の指導を受ける児童

地震が来たらすばやく行動

■地震体験学習

5月12日、みのり幼稚園で地震体験学習が行われ、園児110人が地震の揺れを体験しました。

地震体験学習は、市防災課が起震車により操作し、実際の震度6弱から7の揺れを園児や父兄に体験してもらい、地震発生時の対応を学んでもらおうと毎年行われています。

森川道児園長は、「実際の地震発生の際、園児たちがパニックを起こさないように、素早く机の下にもぐることや頭を守る大切さを肌で感じてもらいたい」と話しました。



起震車で震度6の揺れを体験した園児たち

子どもの健やかな成長を願い

■相良風初節句神事

子どもの初節句を祝う「相良風初節句神事」が5月5日、市史料館で行われました。

この江戸時代から続く伝統行事には、市内外から7組の家族が参加し、子どもの名前と家紋が大きく描かれた縦1.3メートル、横1.17メートルの立派な相良風を見上げ、子どもの健やかな成長を願いました。

市観光協会会長の西谷俊彦さんは「この初節句が皆さんの思い出になり、お子さんやお孫さんに語り継いでいってほしい」と話しました。

参加者は「健康ですくすく育ってほしい」、「元気に大きく成長してほしい」と話し、子どもに優しく笑いかけていました。



家族や関係者全員で初節句を祝いました

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



古代道具を使って火起こしに挑戦する児童たち

古代文化に触れ楽しむ

■古代体験授業

市発掘調査学芸員による古代体験授業が5月11日、細江小学校6年生76人を対象に行われました。

授業は、市教育委員会の出前授業として、市内の遺跡で発見された出土品に触れ、古代人の暮らしを学んでもらおうと毎年開催。児童たちはさまざまな出土品を手にとったり、古代道具を使い火起こしなどに挑戦にしました。

市発掘調査学芸員の松下善和さんは、「子どもたちが郷土史を好きになるきっかけになればうれしい」と話しました。